

ヤングケアラー・若者ケアラーに心のつながりを

ふうせんの会

事務所オープン！

ふうせんの会では、事業拡大に伴い、今年7月、大阪市中央区谷町にある大阪ボランティア協会さんが運営する「CANVAS谷町」の一部をお借りして**事務所を開設**しました。ヤングケアラーたちの居場所になるように、この意味も込めて、改修や家具を新しく設置し優しい光に包まれた、ほっこりする感じの場所としてオープン。ご協力いただいた皆さまありがとうございます。

事務所では、民間企業や学生、支援者の方に向けてヤングケアラー支援のことをより知っていただくよう少人数でのオンラインセッションも定期的に開催。子どもや若者が、ふらっと立ち寄りやすい雰囲気になっており、季節によって飾り付けも変えています。ぜひ一度お立ち寄りください。



Q. どんな会にしたいですか？

運営メンバー紹介

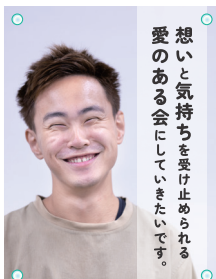
順次、会報で運営メンバーの紹介をしていきます。



森田 香陽
(事務局スタッフ)



山中 葉月
(事務局スタッフ)



三島 俊祐
(広報チームリーダー)



喜多 正輝
(企画チームリーダー)

どんな方も
安心安全に過ごせる場所
になようじていきます。

一人一人の違いを大切に、
居場所を作っています。

想いと気持ちを受け止められる
愛のある会にしたいです。

参加しやすく、
とる会にしたいです。

日本イーライリリー株式会社と パートナーシップ契約を締結！

ふうせんの会は、この度、日本イーライリリー株式会社さま（以下、日本イーライリリー）と**パートナーシップ契約を結びました**。日本イーライリリーは、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。2022年9月より、関わりを持つコミュニティをより良くする「ソーシャルインパクト」創出の一環として、ヤングケアラーを取り巻く環境改善に向けた取り組みを開始されています。日本イーライリリーでは、2022年9月1日（木）9月30日（金）にかけて「未来への思いやり」をテーマに、社員参加型のコミュニティ貢献活動プログラム「リリージャパン・デイ・オブ・サービス（以下DOS）」を実施。DOS 期間中、シンポジウムや図書寄贈イベント、チャリティウォークなどをふうせんの会と共に開催しました。

図書寄贈イベントでは、社員の皆さんと、ふうせんの会の運営メンバーが「ヤングケアラーと社会をつなぐこと」を目的に選書した**約50冊**のヤングケアラー関連書籍やユース世代向けのマンガなどを寄贈していただきました。書籍はふうせんの会の事務所に配架されており、ヤングケアラーの皆さんがほっとする場所になったらと思っています。

初めての合宿研修実施

ふうせんの会は大阪市から委託を受けヤングケアラーのピアサポート事業に2022年8月から取り組んでいます。

去る9月23日、24日、事業の充実を目的に、運営メンバーを対象とした**合宿型の研修を実施**しました。研修講師として、京都光華女子大学講師であり精神科ケアでソーシャルワーカーとして勤務されている村上貴栄さん、社会福祉士・公認心理士として兵庫県内の高校などでSSW（スクールソーシャルワーカー）をされている黒光さおりさんをお招きしました。実際にあった事例なども参考にしながら、**ヤングケアラーへのより適切な支援を考えました**。

今後も定期的に研修等を行う予定で、より安心安全に相談できる環境づくりを目指します。



日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。

▶ 詳細はウェブサイトにて <https://www.lilly.co.jp>



私のケア経験 ～はるかさんの場合～

私のケアが始まったのは、母が癌を発症したのがきっかけでした。父とまだ学生だった弟、妹、私という家族構成で、長女で社会人だった私が料理や弟、妹の弁当作り、父を隣の駅まで送迎することも含め家事全般のケア役割を担うことになりました。

母は、はじめは良性腫瘍と診断だったので一ヶ月もすれば日常に戻ると思っていました。ですが、その後悪性と診断がくだり、抗がん剤治療のために入院を繰り返して二年後に亡くなりました。しかし、その後もケア役割は数年続きました。

私はケアと仕事に追われて自分の時間もかなり制限されてしまいました。不眠、耳鳴り、全身のかゆみなどがとまらなくなり、異変がおきて心療内科に行く、「うつ病になりかけている」と言われ薬を処方してもらった時期もありました。家族に相談しても父には責められ、弟、異母妹も手抜きをしないから自分の首をしめているだけと、気持ちを受けてもらえませんでした。

「近所にも母の事は知れ渡り、「頑張っただけね」「何もしてあげられない」と言われるだけで、複雑な気持ちになっていきました。職場でも「遊べばいいのに」「真面目だね」と言われるだけで苦しかったです。

「私の事は気にかけてくれないんだな」と思えて、徐々に孤立していきました。母の事は心の底から悲しい出来事でしたが、同時に母がどれだけ大きな存在だったことを思い知らされました。その後も体調不良は続いています。一旦仕事をやめ、少し休んで今は別の仕事に就いています。経済基盤を固め自分の人生を歩んでいきたいと、そう思っています。

ふうせんメンバーが日常の写真を撮って、その時に思っていたことをつぶやくコーナー

ふうせんメンバー ポートレート

「元ヤングケアラーとして、

小学校へ出前授業に行ってきました。」

児童のみなさんがヤングケアラー支援に

ついて考え、意見書を市に提出された

ことを受け、自身のケア経験を

お話しさせてもらいました。

素晴らしい取り組みに関わる

ことができてとてもうれしです！
ありがとうございました！



お知らせ

① シンポジウム「ヤングケアラーが『いきる』社会をつくる」

この度、NPO法人ふうせんの会主催（共催 枚方市）のシンポジウムを開催します！

概要

家族のケアを担う子ども・若者たち（ヤングケアラー）をとりまく現状をふうせんの会代表理事の濱島淑恵が解説。ヤングケアラーへの多職種連携について、ヤングケアラー支援をしてきたSSW（スクールソーシャルワーカー）、社会福祉協議会職員、民間企業の方が報告、パネルディスカッションを行います。

開催日時

2023年2月13日（月）13時30分～16時
（開場：13時）

場所

枚方市総合文化芸術センター2F 小ホール



一時保育（定員5名、先着順）、手話通訳あり。（一時保育につきましては、下記よりお申込みください）

※オンライン参加の方は、当日までに当日URLをお送りいたします。
※参加者おひとりにつき、一回のお申込みをお願いいたします。

申込方法

右のQRコードから
電話、メール、FAXでも受付しています。



ヤングケアラーについて興味関心がある方はどなたでもご参加ください！

新規会員・ご寄付を募集しています！

ふうせんの会は、個人・団体会員、ご寄付を募集しています。
周りの方にもご紹介いただけたらとても嬉しいです。

“ヤングケアラー・若者ケアラーのために何かサポートがしたい、もっと知りたい、周りに広めたい”
こんな想いの方にぜひ！年会費は一口1,000円から。会費は「つどい」などを支えています。
※詳しくはホームページをご覧ください。

② 「つどい」は、^{かくげつ}隔月開催です！

開催日時

原則奇数月の第2日曜午後
（会場事情等で変更する場合があります）

場所

現在は、①②のいずれかで開催
①枚方市内
②大阪市内

オンライン
参加可能

対象

中学生以上の現役
または元ヤングケアラー・若者ケアラー、支援者
（支援者の方は人数の制限があります）

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

どちらも参加費は無料です！

Special thanks!!

皆さまよりいただいたご寄付のおかげで、様々な活動につなげることができました。改めて心より御礼を申し上げます。

居内 明美さま (五十音順)
株式会社アーサさま
下村 真代さま
日本イーリリー株式会社さま
公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団さま
まねきねこさま
ミセユニバースジャパン2022 (Bellissima Japan 株式会社) さま
森本 典子さま
吉川 恭子さま (ほか、匿名希望で
ご寄付下さった皆さま)

新規個人会員 瀧本 宏子さま 吉川 恭子さま
新規団体会員 株式会社チャーム・ケア・コーポレーションさま
ご入会いただきありがとうございました！

